

# 立川第八中学校区

(新生小・立川第八中)

## 【小中連携のテーマ】

### 9年間を見通した教育活動づくりを目指して

## 【ねらい】

- 小・中9年間の教育活動により、社会貢献ができる児童・生徒を育てる。
- 「学力」「体力」「豊かな心」を身に付けさせ、生きる力や地域・社会に貢献できる児童・生徒を育てる。

## 【具体的な取組】

### 1 「確かな学力」

#### ○新生小学校への出前授業 2月下旬

立川第八中の教員による出前授業を実施しています。新生小児童が、中学校での学習の見通しをもつことができ、学習意欲の向上や中1ギャップの軽減につながっています。

#### ○小中連携教育活動（教員による情報共有） 年3回

小中教員の共通理解による指導の一貫性を目指し、各校の状況や課題について情報共有を行っています。共有した情報は、各校の教育課程や生活指導等に活かしています。

### 2 「やさしい心」

#### ○新生小学校運動会（中学生ボランティア） 10月16日（土）

立川第八中の生徒会役員と1学年の希望生徒が、新生小の運動会に手伝いボランティアとして参加しています。令和3年度は、28名の生徒が、着順の案内係、玉入れ補助、用具の準備、児童の見守りなどを行いました。中学生にとっては「人の役に立つ」経験を通じた自己肯定感の伸長につながりました。小学生にとっては、中学生の活動を見ることで、数年後の自分の姿を前向きにイメージすることができました。



新生小運動会での中学生ボランティア

#### ○新生小1年・立川第八中2年の交流（凧揚げ補助） 12月2日（木）

新生小1学年生活科「風と遊ぼう」での凧揚げ活動に、立川第八中の2年生が手伝いとして参加し交流を行っています。当日だけでなく、事後学習として感想文やお礼状を交換し、年下の子の面倒をみる経験や、中学生が手伝ってくれたという経験を通して、やさしさや思いやりの心を育くむきっかけとなっています。

### 3 「個を輝かせ」

#### ○八中ガイダンス・部活動見学会 1月24日（金）

新生小6年生を対象に、立川第八中の生徒会本部役員が中学校での学習・生活についてガイダンスを実施しています。ガイダンスに引き続き、小学生の部活動見学の時間も設け、中学校生活を知ってもらう機会としています。

八中ガイダンス・部活動見学会後には、小・中の教員間での情報共有を行い、各校の取組や課題等について共有を図っています。

### 4 「社会のために」

#### ○あいさつ運動 毎月第1火曜日

立川第八中学校区のコミュニティ・スクールのコンセプト「富士見町を元気にしよう！」に向けて、毎週第1火曜日にあいさつ運動を実施しています。

### 5 「安心・安全」

#### ○小中合同集団下校訓練 6月30日（水）

新生小児童と立川第八中生徒が新生小学校に集合・地区別に整列し、顔合わせを行った後、地区別にまとまったの下校訓練を行っています。同じ地区の小・中学生が互いの顔を知ること、災害等の発生時に助け合える関係づくりにつながることを期待しています。



小中合同集団下校訓練

#### ○小中合同引き渡し訓練 9月25日（土）

新生小と立川第八中で実施日時を合わせて、大規模災害発生時を想定し、保護者引き渡し訓練を実施しています。感染症対策等の関係で、今年度は新生小1年と立川第八中1・2年を対象に実施しました。

## 【取組の成果と課題】

### ○成果

- ・今年度は、これまでの取組を継続・定着させるとともにコミュニティ・スクールのメリットを生かし、新生小 PTA 主催の工作教室や、富士見町青少健主催の親子で楽しむ会など、ボランティア活動を中心に活動の幅を広げることができました。
- ・児童と生徒が直接交流する活動を通して、児童にとっては数年後の自分をイメージすることができた。また、生徒にとっては、年下の子どもとの接し方を考えながら交流する中で、優しさや思いやりの心を育む機会となりました。

### ○課題

- ・一小一中のメリットを効果的に生かすため、直接顔を合わせて話をする機会を増やすことが、連携をさらに深めていくためには重要だと考えています。
- ・一方で、取組内容の見直しや改善を行い、教職員にとっても「充実感＞負担感」となるよう、メリハリのある連携活動を進めていくことも必要だと感じています。

